

若山農場のSDGs

100年以上に渡り、竹・筍・栗の栽培を行ってきた若山農場。今生きている我々だけではなく、未来の世代にも豊かな自然資源を継承するためにSDGsに賛同します。

8 働きがいも
経済成長も



- 労働集約型産業である農業において、積極的な機械化・IT化を目指す。
- 社員一人一人が働きやすく、自己実現を図れる環境を作る。

11 住み続けられる
まちづくりを



- 竹苗の生産・販売により都市における緑地の提供。
- 竹林の管理・運営により緑地面積の確保。

12 つくる責任
つかう責任



- 筍・竹の間伐材など未利用有機物の有効活用によりカーボンニュートラルを目指す。
- 農薬や化学肥料の使用を避け、自然循環型栽培による環境負荷の少ない生産を目指す。

13 気候変動に
具体的な対策を



- 竹の植栽により都市部のヒートアイランド現象の改善。
- 農産物等での生産過程における方法や資材の見直しを図り、CO₂排出量を下げ、環境への負荷を下げる。
- 地産地消の促進によりマイレージコストの削減。

15 陸の豊かさも
守ろう



- 竹林の管理運営により緑地の提供と植物多様性の増進。
- 農薬や化学肥料の使用を避ける自然循環型栽培により、環境への影響を和らげる。